

※核酸増幅法検査（PCR法、LAMP法、TRC法）とは？

痰等の患者より採取した検体から、DNAを抽出し、結核菌遺伝子を増幅します。

さらに増幅した遺伝子と結核菌群DNA配列との結合性により、抽出した患者検体の中に結核菌遺伝子が存在するかどうかを同定する方法です。

分離培養法に比べ迅速であり、かつ高感度な検査法です。

また、結核菌群と非結核性抗酸菌（アビウム、イントラセラー）の区別が可能です。

ただし、死菌やBCG株でも陽性結果が出る場合があります。

検査結果は、外注依頼検査から1～3日で結果が報告されます。

自施設で実施する場合

- ・PCR法は4時間程度で結果判明
- ・LAMP法、TRC法は2時間以内で結果判明



（大分県東部保健所 検査課 診療放射線担当 令和2年5月15日作成）